

目標・指標

<基本目標 1> 子どもの運動・スポーツ機会の充実

◆達成目標

指標名		現状	目標(令和9年度)	備考
体力合計点 (小・中学生男女合計平均)		49.0点 (令和4年度)	52点	・本県の過去最高点(51点)の更新を目指す ・52点はR3全国1位の水準 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合 (中学生女子)		77.2% (令和4年度)	80%	・本県の過去最高割合(79.8%)の更新を目指す ・80%はR3全国1位の水準 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
体育授業以外の1週間の運動実施時間が60分未満の子どもの割合	小学生男子	8.9% (令和4年度)	6%以下	・過去5年の全国平均(7.7%)の水準を下回ることを目指す 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
	小学生女子	16.7% (令和4年度)	10%以下	・過去5年の全国平均(12.7%)の水準を下回ることを目指す 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
	中学生男子	8.1% (令和4年度)	6%以下	・過去5年の全国平均(7.1%)の水準を下回ることを目指す 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
	中学生女子	18.2% (令和4年度)	17%以下	・過去5年の全国平均(18.8%)の水準を下回ることを目指す 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】

◆目標達成に向けた分析の参考とする指標

- ・長野県版運動プログラム実施市町村数
- ・総合型地域スポーツクラブによる長野県版運動プログラム実施数
- ・長野県版運動プログラム普及講座受講者数
- ・一校一運動実施率
- ・ながのスポーツスタジアム参加数
- ・学校体育指導者研修受講者数
- ・学校体育実技(武道)講習会受講者数
- ・運動部活動及び地域のスポーツクラブ加入率
- ・地域のスポーツ活動指導者向け研修の受講者数
- ・休日部活動の移行部活動率
- ・**学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて受け皿となる運営団体の設置率**
- ・**休日部活動の移行部活動**
- ・総合型地域スポーツクラブによる「ゆるスポ活動*」実施数
- ・**パラ学(県独自の体験型授業)の実施クラス累計数** (→ 基本目標4達成目標に移行)
- ・障がい者スポーツ指導員の数
- ・障がい者スポーツの体験会や交流会等を実施する市町村の数

◆達成目標

指標名	現状	目標(令和9年度)	備考
成人の運動・スポーツ実施率 (成人の週1日以上)	60.8% (令和3年度)	70%	・国の第3期スポーツ基本計画の目標値と同一 【県政モニターアンケート調査】
直接スポーツ観戦率	8.0% (令和3年度)	20%	・本県の過去最高割合(13.5%)の更新を目指す 【県政モニターアンケート調査】
スポーツボランティア参加率	4.2% (令和3年度)	15%	・本県の過去最高割合(10.7%)の更新を目指す 【県政モニターアンケート調査】
地域のスポーツクラブへの加入率	8.7% (令和3年度)	20%	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準(約10%)からの倍増を目指す 【(加入者数)スポーツ課調】 【(県人口)毎月人口異動調査】
障がいのある人が参加するプログラムを行っている総合型地域スポーツクラブの割合	26.9% (令和3年度)	50%	・令和10年の本県での全障スポ開催を1年前に控え、全総合型地域スポーツクラブの半数を目指す 【障がい者支援課調】

◆目標達成に向けた分析の参考とする指標

・成人女性の運動スポーツ実施率(成人の週1以上)

- ・アシスタントマネージャー養成講習会受講者数
- ・生涯スポーツ研修講座受講者数
- ・スポーツ事故等に関する講習会受講者数
- ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度*の登録クラブ数
- ・総合型地域スポーツクラブと障がい福祉施設等が連携した障がい者スポーツの拠点数

◆達成目標

指標名		現状	目標(令和9年度)	備考
国民スポーツ(体育)大会	天皇杯(男女総合)順位	15位 (令和4年)	5位以上	・令和10年信州やまなみ国スポで1位を目指す ・「競技力向上基本計画」に掲げる目標順位
	冬季大会順位	2位 (令和4年)	1位	・直近5大会の分析をもとに目標設定
	本大会順位	34位 (令和4年)	10位以上	・直近5大会の分析をもとに目標設定
国民スポーツ(体育)大会(少年)・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の入賞数		254人・団体 (令和4年度)	300人・団体以上	・令和10年信州やまなみ国スポでの天皇杯・皇后杯の獲得に向けて過去最多の入賞数を目指す
ミラノ・コルティナダンパッツォ冬季オリンピック(2026年)でSWANからメダリスト輩出		0人 (令和4年冬季北京五輪)	1人以上	・SWANプロジェクト出身者からメダリスト輩出を目指す
ブロック予選を突破して全国障害者スポーツ大会に出場する団体競技数(障がい種別、男女別)		1競技 (令和4年度)	6競技	・信州やまなみ全障スポ開催を1年後に控える中、全12競技の半数で予選突破を目指す

◆目標達成に向けた分析の参考とする指標

- ・北信越国体における本大会への出場権獲得数
- ・SWAN プロジェクトメンバーの全国中学校体育大会入賞数
- ・オリンピック育成支援対象者の世界大会出場人数
- ・長野県アスリート就職支援事業等による県内就職アスリート数
- ・医科学サポートを選手強化の中に位置付けて選手を支援している競技団体数
- ・先端技術を活用した競技力向上に対応できる競技(種目)数
- ・全国障害者スポーツ大会ブロック予選に出場する団体競技数(障がい種別、男女別)

◆達成目標

指標名	現状	目標(令和9年度)	備考
体験型教育プログラム「パラ学」(実施クラス数)	111クラス (5年度)	140 クラス (令和9年度)	・パラスポーツを題材にした出張型授業の実施クラス数

◆ 目標達成に向けた分析の参考とする指標

- ・スキー場における延べ利用者数
- ・スポーツ合宿等受入実態調査
- ・スキー及びスキー以外のスポーツを来訪主要目的とした学習旅行の延べ児童・生徒数
- ・冬季スポーツを通じた中国とのジュニア選手交流競技数
- ・スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定に基づく実施事業数
- ・健康づくりのために運動の取組を行っている者の割合